

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

【黄色塗り部分は決算報告時に記載（配付申請時は記載不要）】
【様式1】

令和5年度 校長経営戦略支援予算【学校配付】配付申請書

(校園コード 511001)

※校園コードを必ず入力してください。

取組に対する評価状況

学校名 堀川小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 1,365,000 円 → 決算額 円

2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級数	学級配当
350,000	+ 28学級	+ 7学級	× 29,000

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額	= 1,365,000
-------	---

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

○学校の特色の一つとして、伝統あるマーチングを継続し、保護者・地域住民に披露する場を工夫する。事後アンケートで、児童・保護者とも「マーチングに取り組むことで（子どもたちが）得たものがある」の設問に対する肯定的回答の割合を80%以上になるようにする。また、マーチングを鑑賞する児童の意識が高まるよう工夫することで、本校の伝統が受け継がれていくようにする。
○令和5年度校内調査「日々の授業の中で学習者端末を活用して学習をしている。」の項目について「ほぼ毎日」とこたえる児童の割合を90%以上にする。さらに、スマートスクール次世代学校支援事業で導入している心の天気、いじめアンケート等により児童の心の状態や日々の生活状況を可視化し、子どもの理解を深めるとともに、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を実現する。
○小学校学力経年調査・校内アンケートの「友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広めたりすることができている。」の項目に肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。
○読書環境の整備に努め、蔵書の整備を積極的に行う。児童アンケートの「読書が好き」の設問に対する肯定的回答の割合を80%以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

○学校の特色の一つとして伝統あるマーチングに取り組み、校内・保護者・地域に披露する場を工夫する。
○学習者用端末を利用して、スマートスクール次世代学校支援事業で導入されている心の天気やいじめアンケートで児童の心の状態や日々の状況を可視化し、児童の理解を深める。
○教科・領域の指導において、子どもにどのように力をつけさせたいのかを明確にした指導評価・実践を目指し、全学年で授業研究に取り組む。
○図書室の整備をはじめ、学級文庫の充実、読書スペースの整備、市立図書館の団体利用などを進め、読書環境の整備に努める。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- テーマ・練習の進捗状況を校内・保護者・地域に対して学期に1回以上発信し、取り組みの目的を共有する。
- 活動内容・練習方法・披露する場所を工夫する。
- 6年生では、学年全体で取り組むことの意義を常に考えさせ、取り組みを通して、友だち同士が互いに支えあう共生の心と自己肯定感を育むようにする。
- 1～5年生では、マーチングの鑑賞を通して自身でも取り組んでみたいという気持ちにつなげ、伝統を受け継いでいく気持ちを醸成していく。
- 児童アンケートで1から5年生は、「マーチングを見て、自分もやってみたいと思う。」6年生は「マーチングに取り組んで、自分にとって得たものがあると思う。」の肯定的回答の割合を80%以上にする。
- 発達段階や学習場面等に合わせて、学習者用端末やデジタル教材を有効的に活用する。
- ICT機器を活用したプレゼンテーションスキルの向上のために、各教科の中で学習者用端末等を使ったプレゼンテーションをする機会を設定する。
- 学習者用端末で、スマートスクール次世代学校支援事業で導入されている心の天気やいじめアンケートを児童の心の状態や日々の状況を可視化する。
- 各教科の授業研究（一人一授業含む）において、「単元を通して、何を目的としてどのような内容を交流するか」という視点をもち、授業を実施する。また、授業研究（授業）後に、参観者のコメントシートをやり取りすることで、授業力を高める。
- 前年度までの体育科の研究を活かし、授業前に、学年で、子どもたちの視点に基づいた授業展開を考えるようにする。また、年間指導計画をもとに、領域ごとの到達度目標を設定し、教師が教えることと子どもたちが気づくことを明確にする。
- 児童アンケートにおける「話し合い活動」に対する肯定的な回答（児童）を昨年度よりも1ポイント増加させる。
- 読書環境の整備を定期的に点検する。
- 学級文庫の本を学期ごとに交換する。
- 読書ボランティアの活躍の場と交流の場を設定する。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【基本的な方向番号、名称】 取組内容⑦【2. 豊かな心の育成・マーチング】 学校の特色の一つとして伝統あるマーチングに取り組み、校内・保護者・地域に披露する場を工夫する。	委員会使用欄	達成
①予算内訳 7-1 マーチング講師謝礼 @5,200円×3H×10回×2人=312,000円 17-2 オルガン @270,000円×2台=540,000円 17-2 キーボード @90,000円×3台=270,000円 10-1 けんばんハーモニカ @8,000円×6台=48,000円	合計1,170,000円	
②決算内訳		
(2)取組内容【基本的な方向番号、名称】 取組内容①【6. 教育DXの推進・ICTを活用した教育の推進】 学習者用端末を活用して、スマートスクール次世代学校支援事業で導入されている心の天気やいじめアンケートで児童の心の状態や日々の状況を可視化し、児童の理解を深める。	委員会使用欄	達成
①予算内訳 10-1 HDMI変換アダプターケーブル @2,500円×30=75,000円	合計75,000円	
②決算内訳		
(3)取組内容【基本的な方向番号、名称】 取組内容②【4. 誰一人取り残さない学力の向上・主体的・対話的で深い学び】 教科・領域の指導において、子どもにどのように力をつけさせたいのかを明確にした指導計画・実践を目指し、全学年で授業研究に取り組む。	委員会使用欄	達成
①予算内訳 7-1 研修講師謝礼 @5,200円×3H×6回+7,300円(交通費)=100,900円	合計100,900円	
②決算内訳		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。

委員会使用欄は空欄としてください。

7. 取組内容・予算内訳

(4) 取組内容【基本的な方向番号、名称】	委員会使用欄	達成
取組内容④【8. 生涯学習の支援・学校図書館の活性化】 図書室の整備をはじめ、学級文庫の充実、読書スペースの設置、市立図書館の団体利用などを進め、読書環境の整備に努める。		
①予算内訳 7-1 読み聞かせ講師謝礼 @4,300円×4H+1,900円（交通費）=19,100円 合計19,100円		
②決算内訳		